

## 令和7年度 立川市立立川第三中学校 授業改善推進プラン

<b>学校の教育目標</b> 立志 鍛錬 協調 ○自分の将来の姿、生き方をイメージし、その実現に向けて努力しよう ○より良い自分を目指し、学習に励み、感性を磨き、体力向上に努め自らを高めよう ○一人一人の個性を認め合い、互いに協力し成長し合おう
--

生徒に育成を目指す資質・能力	教科や学年全体に共通する取組
○知識及び技能 ○思考力、判断力、表現力等 ○学びに向かう力、人間性等	1. 各教科における基礎・基本の定着のため、適切な学習課題の設定と定着度の確認等を実施 2. 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための指導の工夫 ①授業のねらいと見通しを提示 ②他者と交流する学習活動 ③まとめと振り返りの時間の確保 3. I C T機器の積極的な活用等による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 4. 授業、学習活動におけるユニバーサルデザインの推進とデジタルドリル、タブレット P Cの活用 5. 「興味をもたせ、できた、わかった」の実感できる「ワクワクさせる授業」 6. 少人数、習熟度別授業の効果的な実施（数学・英語） 7. 生徒の「学びに向かう力」を育成するための補充学習、自習教室の実施 8. 効果的、効率的な指導を通した体力・運動能力の向上

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	○文章を読み、内容を正しく理解する力や表現の効果について考え、活用できる力。 ○課題に対して、自分の考えをまとめ、適切に表現する力。	・文章で説明する際、意見と根拠の結びつきを確認し、文章の構成を考える時間を作る。 ・自分の考えを深掘りして文章にまとめていく課題を用意する。
社会	○資料やグラフから情報を読み取り、活用する力。 ○社会的事象に対して、主体的に思考・判断し、様々な方法で表現する力。	・タブレット P Cなどを活用して、資料やグラフについて生徒同士で意見交換を行う場面を設定する。 ・「なぜ」「どうして」という問い合わせによる授業構成を軸とし、単元のまとめなどで、レポートや発表などの課題を設定する。
数学	○数量についての基礎的な概念や原理・法則などの理解と、基本的な計算力。 ○数学を活用して、未知の問題に対して解決に向かい、粘り強く取り組む態度。	・副教材等を活用し、基本的な解き方を参考に、繰り返し問題を解く時間を作る。 ・単元ごとに確認テストを行うことで、振り返りの時間を確保する。 ・他者と議論する中で、様々な考えを共有することができるような時間、課題を用意する。
理科	○実験器具や実験方法などの基本的な技能。 ○理科的な思考や表現に必要な知識。 ○理科的な知識を活用しながら自分の考えを言葉や図、グラフ等で表現する力。	・副教材や演習問題、小テストなどを実施することで、繰り返し問題に触れる時間を増やし、知識の定着を図る。 ・実験時のレポートなどを活用して、自分の考えを言葉や図、グラフなどで表現する機会を増やしたり、演習問題(記述問題)に取り組ませたりして、思考・判断・表現力の向上を図る。 ・タブレット P Cを活用して、自分の考えを他者と共有する機会を設ける。

音楽	○表現活動に生かせる知識及び技能。 ○楽曲にふさわしい表現力と発想力。	・知識の定着を図るために、前回の授業の復習をするなどの繰り返し確認をするとともに、実技テストを実施する。 ・音楽の歴史や要素と、発表通过对して知った他者の意見や感じたことを結び付けて、鑑賞・表現活動に取り組めるようにする。
美術	○作品を計画的に制作していく力。 ○作品をよりよくするための発想力。 ○基礎的な知識や課題の内容をよく理解し、粘り強く取り組む力。	・課題ごとに経過の目安を細かく伝えて、見通しをもって制作に取り組めるようにする。 ・アイディアスケッチなど、豊かな発想を引き出す場面を設ける。 ・ＩＣＴ機器を活用して基礎的な知識を分かりやすく提示し、理解できるようにする。
保健体育	○学んだ知識をもとに、他者と思考しながら運動を調整していく力。 ○自分の生活と関連付けて、健康を保持増進していく力。	・コオーディネーショントレーニングを適宜取り入れ、効率的な体の使い方を身に付けられるようにする。 ・他者と考えを共有できる場面を設定する。 ・タブレットＰＣを活用して自身の運動や生活の取り組み等の振り返りをし、定着を図る。
技術家庭	<技術> ○自ら身の回りの技術にかかわる問題を見いだして、課題を設定し、解決策を考える力。 ○変化や進化をし続ける技術について学び、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする態度。  <家庭> ○生活に必要な衣食住・家庭生活・家庭経済について、これらの知識を学ぶ重要性を理解し、実際の生活で活用するための知識の習得と実践的な力。 ○生活の中の課題を見つけ、授業を通して身に付けた知識を活用し、解決する力。	・設計や計画、栽培の管理作業において、自分の考えを整理し、発表する場面を計画的に設ける。 ・作品の活用レポートやスライド作成などを通して、改良案を検討する活動を取り入れる。 ・授業内で、その分野に関する最新の技術を提示し、タブレットＰＣを活用しながら、生徒が最新の技術に関するメリットとデメリットを考え、意見交換をする授業を行う。  ・生活の自立をするために必要な知識・技術の習得のために、実際の事例や写真、実際の生活での振り返りを通してこれらの知識・技能を学ぶ必要性を考えられるようにする。 ・レポートや実習を通して、生活の知識・技術を実践しながら身に付けられる授業を行う。
外国語	○「聞く・話す・読む・書く」の4技能を用いて、自分の考えを表現したり、相手のことばの意味を理解したりすることができる力。 ○英語を積極的に用いて、相手と粘り強くコミュニケーションをとろうとする態度。	・毎回の授業で、既習事項に触れることができる活動を取り入れ、英語の知識や技能を積み重ねる。 ・与えられた課題について、英語で考え、それを英語で相手に伝える活動を行う。 ・教科書内の話題について、本文の要約をしたり、自分の意見を3文程度で書いたりする活動を行う。 ・ＡＬＴが話す英語をよく聞いて理解し、ネイティブ発音を意識して身に付けさせる授業を展開する。ＡＬＴとの授業は基本的にオールイングリッシュで行い、生徒の発話がメインの授業を展開する。